

建設未来協議会

大洋小でテーブル製作 将来の進路選択の一助に

県建設業協会建設未来協議会鹿行地区（鎗木大輔幹事）は12日、銚田市立大洋



羽生支部長



鎗木幹事

小学校（市村俊英校長）にてベンチ付きテーブル製作体験学習を開催した。鹿行



真剣なまなざしで作業に取り組む



皆で作ったテーブルに座って記念写真

地区会員14人、5年生60人が参加。開会式で、県建設業協会銚田支部の羽生義隆支部長が「今回製作するテーブルが大切に引き継がれることを願う。ものづくりの大切さを体験し、今後の進路選択の糧にしてもら

いたい」とあいさつ。

続いて、鎗

木幹事が「協

力してももの

くりをする楽

しさや完成時

の達成感を味

わってほし

い。体験学習

をきっかけに

建設業に興味

を持つてもらえれば」と

語った。市村校長は「建設

業は私たちの生活をより豊

かにしてくれる仕事。学校

生活がより豊かになる憩い

の場となるようなテーブル

を作ってほしい」と呼び掛



藤枝さん



市村校長



羽生支部長から目録を贈呈

けた。

作業では、4班に分かれて組み立てに挑戦。インパクトドライバーなどを使用し、会員の指導を受けつつ協力してベンチ付きテーブルを製作した。完成後は、テーブルを前に記念写真を撮影。

閉会式では、羽生支部長が市村校長に目録を贈呈。最後に、児童を代表して藤枝花さんが「貴重な体験になった。今日作ったベンチで友達と楽しい時間を過ごしたい」と、お礼の言葉を述べた。